

SOPHOS

Security made simple.

Sophos SafeGuard Native Device Encryption for Mac クイックスタートアップ ガイド

製品バージョン: 7

ドキュメント作成日: 2014年 12月

目次

1 SafeGuard Native Device Encryption for Mac について.....	3
2 SafeGuard Native Device Encryption for Mac の使用.....	4
2.1 初期暗号化を実行する.....	4
2.2 復号化.....	4
3 Mac OS X ログオンパスワードの復旧.....	5
4 Sophos SafeGuard Native Device Encryption システム メニュー.....	6
5 環境設定ペイン.....	7
5.1 「About」 タブ.....	7
5.2 「Server」 タブ.....	7
5.3 「User」 タブ.....	8
5.4 「Disk Encryption」 タブ.....	8
6 テクニカルサポート.....	10
7 ご利用条件.....	11

1 SafeGuard Native Device Encryption for Mac について

Sophos SafeGuard Native Device Encryption for Mac は、Sophos SafeGuard Enterprise の Windows 向けデータ保護機能を Mac 向けに構築したものです。

ハードディスク全体を暗号化することで、コンピュータの盗難・紛失時であってもデータ流出事故を回避し、すべてのデータを保護することができます。

2 SafeGuard Native Device Encryption for Mac の使用

ディスク暗号化は透過的に行われます。ファイルを開くとき、編集するとき、または保存するときに、暗号化や復号化の指示は表示されません。

暗号化の対象となるクライアントは、セキュリティ担当者が Sophos SafeGuard Management Center (SafeGuard Enterprise のコンポーネント) で指定します。SafeGuard Management Center には、各クライアントの暗号化の状態に関する情報が表示され、ユーザーがログオンパスワードを忘れた場合は復旧できます。

2.1 初期暗号化を実行する

システムディスクのボリュームベース暗号化がポリシーで定義されている場合、現在ログオンしているユーザーに対して、ディスク暗号化が有効化されます。暗号化を開始する前に、ログオンパスワードの入力を要求するダイアログが表示されます。

1. 指示に従って Mac OS X パスワードを入力します。

間違ったパスワードを入力すると、ダイアログが左右に揺れます。再試行してください。

注: 空のパスワードを使用している場合は、変更してください。空のパスワードを使用して、ディスク暗号化を有効化することはできません。

2. Mac が再起動するのを待機します。

注: 暗号化を有効化できない場合は、エラーメッセージが表示されます。システム管理者に問い合わせてください。

ディスク暗号化はバックグラウンドで処理されるので、ユーザーは通常の作業を続行することができます。

2.2 復号化

通常、復号化の操作は必要はありません。暗号化済みの Mac クライアントに対して、セキュリティ担当者が暗号化を行わないというポリシーを適用した場合でも、暗号化された状態が維持されます。ただし、この場合、復号化することを選択できます。該当するボタンが環境設定ペインに表示されます。

3 Mac OS X ログオンパスワードの復旧

Mac OS X ログオンパスワードを忘れた場合は、次の手順を実行します。

1. Mac の電源を入れます。
2. ログオンダイアログで、「？」をクリックします。(または、間違ったログオンパスワードを 3 回入力します。)

パスワードのヒントが表示され、復旧鍵を使用してパスワードをリセットするかを確認するメッセージが表示されます。

3. ヒントを使用してもパスワードを思い出せない場合は、メッセージテキストの横にある次のアイコンをクリックします。



4. ヘルプデスク担当者に連絡し、入手した復旧鍵を入力します。

Mac が開始し、新しいパスワードとパスワードのヒントを入力するよう表示されます。



4 Sophos SafeGuard Native Device Encryption システムメニュー

システムメニューには次のような情報が表示されます。

- 左端のアイコンには、最新の暗号化の状態が表示されます。



図 1: システムメニュー

	緑色のアイコン:システムディスクは暗号化されています。
	赤色のアイコン:システムディスクは暗号化されていません。

- このアイコンをクリックすると、次のメニューアイテムが表示されます。
 - **Open Sophos Encryption Preferences...**
Sophos Encryption 環境設定ペインを表示するためのオプションです。

注: システムメニューでこのアイコンを表示/非表示にする方法の詳細は、[「User」タブ](#) (p. 8) を参照してください。

5 環境設定ペイン

環境設定ペインでは、特定のアプリケーションやシステムに対する設定を指定できます。Sophos Encryption を Mac クライアントにインストールすると、「システム環境設定」に、次の環境設定ペイン アイコンが表示されます。



アイコンをクリックすると、Sophos Encryption 環境設定ペインが開きます。「About」(情報) 画面が表示されます。

メニューバーから、次のタブを開くことができます。

5.1 「About」タブ

「About」(情報) タブには、Mac にインストールされている製品のバージョン、および著作権や登録商標に関する情報が表示されます。Sophos SafeGuard File Encryption がインストールされている場合、それが表示されます。

ウィンドウ下部のリンクをクリックすると、ソフォス Web サイトが開きます。

5.2 「Server」タブ

「Server」(サーバー) をクリックすると、次の情報と機能が表示されます。

Server Info (サーバー情報)

- **Contact interval:** サーバーとの同期頻度。セキュリティ担当者によって一元的に定義されます。
- **Last Contacted:** クライアントが、前回サーバーに接続した日時
- **Primary Server URL:** プライマリサーバーの URL
- **Secondary Server URL:** セカンダリサーバーの URL
- **Server Verification:** Sophos SafeGuard Enterprise サーバーに接続するための SSL サーバー検証が有効または無効であることが表示されます。有効化されているはずですが。

Drag configuration zip file here (構成 ZIP ファイルをここにドラッグ&ドロップする)

このドロップゾーンに構成 ZIP ファイルをドラッグ&ドロップして、SafeGuard Management Center から Mac クライアントに構成内容を適用します。

Synchronize (同期)

ポリシーなどのデータベース情報を手動で同期するには、このボタンをクリックします。

同期に失敗すると、次のアイコンが表示されます。



考えられる原因についてはログファイルを確認してください。

Company Certificate (企業証明書)

- **Valid from:** 証明書の有効期限の開始日時
- **Valid to:** 証明書の有効期限の終了日時
- **Issuer:** 証明書の発行元インスタンス
- **Serial:** 企業証明書のシリアル番号

5.3 「User」タブ

「User」(ユーザー)をクリックすると、次の情報が表示されます。

- **Username:** 現在ログオンしているユーザーのユーザー名。
- **Domain:** クライアントが所属するドメインディレクトリ。ローカルユーザーに対しては、ローカルコンピュータ名が表示されます。
- **SafeGuard User GUID:** 初回ログオン後、ユーザーに対して生成された GUID。

2つ目のパネルでは、次のオプションを選択/選択解除できます。

- **Show System Menu for File Encryption:** 選択すると、メニューバーに Sophos SafeGuard Native Device Encryption アイコンが表示されます。詳細については [Sophos SafeGuard Native Device Encryption システム メニュー](#) (p. 6) も参照してください。

3つ目のパネルには、「User Certificate」(ユーザー証明書)(ディスク暗号化には不要です。)に関する情報が表示されます。

- **Valid from:** 証明書の有効期限の開始日時
- **Valid to:** 証明書の有効期限の終了日時
- **Issuer:** 証明書の発行元インスタンス
- **Serial:** 証明書のシリアル番号

5.4 「Disk Encryption」タブ

「Disk Encryption」(ディスク暗号化)をクリックすると、現在のポリシーおよびMacクライアントの状態が表示されます。

1つ目のパネルには、システムディスクの暗号化が、セキュリティ担当者によってポリシーで指定されているかが表示されます。

2つ目のパネルには、Mac クライアントの状態が表示されます。次のいずれか 1つが表示されます。

- The system disk is encrypted and a centrally stored recovery key is available. (システムディスクが暗号化されており、一元格納された復旧鍵があります。)
- The system disk is encrypted but there is no centrally stored recovery key available. (システムディスクが暗号化されていますが、一元格納された復旧鍵がありません。)
- The system disk is not encrypted. (システムディスクは暗号化されていません。)

下部に「**Decrypt System Disk**」(システムディスクの復号化) ボタンが表示されます。このボタンは、暗号化が不要であるとセキュリティ担当者がポリシーで指定したクライアントに対して有効になっています。

注: 一元格納された復旧鍵がない場合、ヘルプデスク担当者はパスワードの復旧を支援できません。復旧鍵を一元的に格納するには、次のコマンドラインを使用して復旧鍵をインポートします。sgdeadmin --import-recoverykeyこの操作を行うと、必要なときにセキュリティ担当者から復旧鍵を入手できるようになります。復旧鍵が不明な場合は、セキュリティ担当者に問い合わせてください。新しい復旧鍵を作成するには、ディスクの復号化とその後の暗号化が必要になります。ログオンパスワードを忘れた場合、使用できる復旧鍵がないと、暗号化されたディスク上のデータはすべて失われることとなります。

6 テクニカルサポート

ソフォス製品のテクニカルサポートは、次のような形でご提供しております。

- 「SophosTalk」ユーザーフォーラム (英語) (community.sophos.com/) のご利用。さまざまな問題に関する情報を検索できます。
- ソフォス サポートデータベースのご利用。 www.sophos.com/ja-jp/support.aspx
- 製品ドキュメントのダウンロード。 www.sophos.com/ja-jp/support/documentation/
- オンラインでのお問い合わせ。
<https://secure2.sophos.com/ja-jp/support/contact-support/support-query.aspx>

7 ご利用条件

Copyright © 2014 Sophos Limited. All rights reserved. SafeGuard は Sophos Limited および Sophos Group の登録商標です。

この出版物の一部または全部を、電子的、機械的な方法、写真複写、録音、その他いかなる形や方法においても、使用許諾契約の条項に準じてドキュメントを複製することを許可されている、もしくは著作権所有者からの事前の書面による許可がある場合以外、無断に複製、復元できるシステムに保存、または送信することを禁じます。

Sophos、Sophos Anti-Virus および SafeGuard は、Sophos Limited、Sophos Group および Utimaco Safeware AG の登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

サードパーティコンポーネントの著作権に関する情報は、製品ディレクトリ内の「**Disclaimer and Copyright for 3rd Party Software**」(英語)というドキュメントをご覧ください。